

《研究主題》

自ら考え判断し、自己を生かす活動に喜びをもつ子供の育成

～「4つのまごころ」を活用しながら、道徳性が発揮される生活づくりの充実を目指して～

1 主題設定の理由

グローバル化や技術革新、刻々と変化する時間の中で私たちは生きている。人間の力を超えた存在に驚かされ、立ち向かうこともある。どんな時も、人々は、力強く、支え合いながら生きている。

これからの時代を生き抜いていくために必要な力とは何かをこれからも議論していく必要があるが、そのためにも本校の児童の課題は以下のとおり挙げてみる。

- 「自分のいいところ」を理解し、自分を大切に思う気持ちが低い
- 「自分は誰かのために役にたっている」と感じる自己有用感が低い
- 「自ら考え、進んで行動する」主体的な行動ができない

今後、多様な社会を共に生き、新しい課題に向き合っていくためには、自分自身を見つめ他者と関わる中で、自分の力を発揮することが求められる。これらの力を育むために、一つ一つの教育活動を関連付け、効果的にそれぞれの力を育てていく教育活動全体を見通した視点を持つことが必要と考えられる。

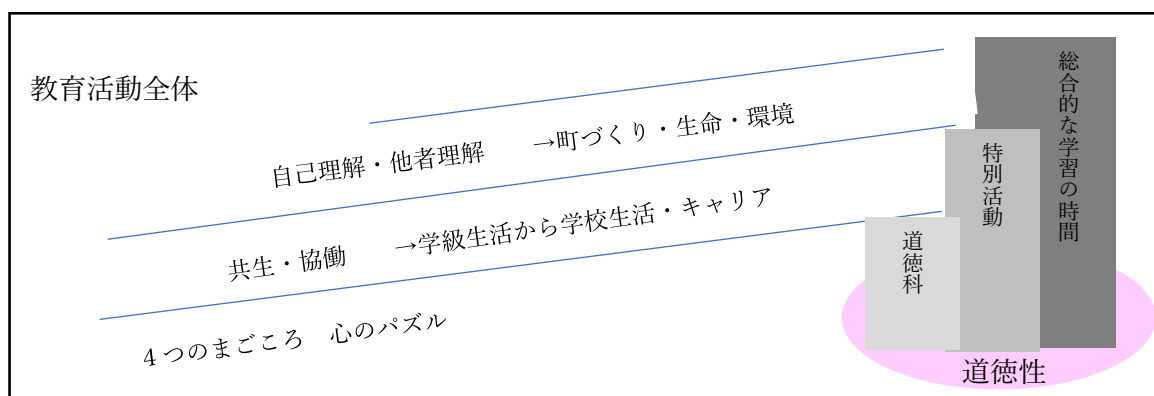
そこで本研究では、道徳教育を中心にして、自ら考え判断し、自己を生かす活動に主体的に取り組む子供の育成を目指していきたい。道徳性が発揮される生活づくりのために以下の3つの教科等を研究の中心とする。

道徳科においては、生活と授業を結び付け普遍的な道徳的価値に気づき、「4つのまごころ」(自分を育てる心・ともに生きる心・社会をつくる心・命を感じる心)を学ぶ。道徳的価値を自覚できる授業を重ねることで、実生活での言動のヒントとなる道徳的実践力が養われていく。

特別活動においては、道徳的価値観をもとに自分たちで考え、実践していくことを通してその学びを確かなものにし、自分自身の存在や支え合う集団のよさを実感していく。学級、学校という子供の身近な社会の中で、自分の存在価値を見出し、貢献する体験が道徳的価値に基づいた実践力につながる。

総合的な学習の時間では、自分の身の回りの課題から広い視野に立った現代的課題に向き合い自分の考えを深めることを通して、自分自身を見つめ未来を創りだそうとする意識を高める。他者との関わりや集団や社会と関わることで、自分の将来の姿を思い描く一つの手がかりになっていく。

以上のように、道徳教育を中心に据えて、学校の教育活動一つ一つをつなぐことで、子供の中に育まれた道徳性をより確かなものにすることができる。これによって、子供自身が心の成長を自覚することができるとともに、自己を生かす活動に主体的に取り組み、周囲も子供の心の変容に気づき共に成長をする集団として高め合うことが期待される。これは、変化の激しい時代を生きていく子供たちが、よりよい生活づくりに喜びをもって持続的に取り組む姿勢を育むことにつながる。

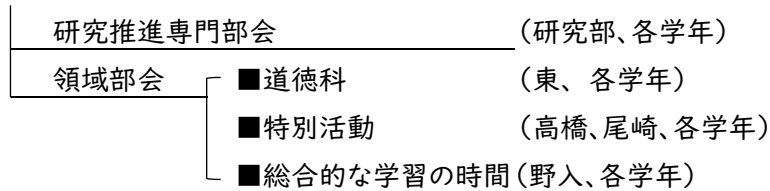


2 めざす研究の姿

- 授業や活動で子供が自分自身の力を発揮し、子どもが活躍する研究に
- 授業で提案し、主張できる、教師が生きる研究に
- すべての人にとって分かりやすく、学校生活(社会)を豊かにする研究に

3 研究の組織

校長—教頭—全体会—研究部(高橋・尾崎・東・野入)



4 研究の内容

(1) 研究の目標

道徳教育を中心にして、子どもたちが「4つのまごころ」というフィルターを通して、自分自身や友達の行為を価値付けていく。そうすることで、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養いながら、一人一人の子供が喜びをもって、身近な今の生活の課題を解決しながら、自分たちの生活の改善に取り組んでいく。そして、未来の自分たちの生活をよりよいものにしようという学び手を育成することを本研究の目標とする。

(2) 研究の仮説

「4つのまごころ」を活用しながら、道徳科において、子どもたちが道徳的価値を自覚し、特別活動や総合的な学習の時間において、道徳的実践の充実を図っていけば、子どもたちの中に形成された道徳性を基盤として、一人一人の子供が自己の生き方について考えを深め、自ら考え判断し、よりよい生活づくりを実践することで自己を生かす活動に喜びをもって取り組むであろう。

(3) 研究の視点 視点1:「4つのまごころ」マスコットキャラクターの活用

- ①「4つのまごころ」と子供の実態や学校目標を基にした学級目標作り
- ②「4つのまごころ」を学校全体の評価ツールとして生かす
- ③「4つのまごころ」を子供の自己評価として生かす

視点2:道徳科・特別活動を中心とした授業改善

- ①子供の実態を生かした授業づくり、授業分析、授業改善
- ②道徳的価値の自覚を深める道徳科の授業づくり
- ③道徳的価値観から創り上げる学級活動の授業づくり

視点3:道徳性を生かす環境づくり

- ①道徳性を学校の日常生活に生かす取組(たてわり班活動)
- ②道徳性を学校全体へ広げる特別活動の取組(学校行事・集会活動)
- ③道徳性を地域社会へ広げる総合的な学習の時間の取組(SDGsの実践)

5 研究の方向性

